

# 自然災害後対応可否チェックリスト

一般社団法人 日本冷凍空調工業会  
ヒートポンプ給湯機委員会  
家庭用ヒートポンプ技術専門委員会  
サービスWG  
令和6年6月発行

家庭用ヒートポンプ給湯機(エコキュート)が様々な自然災害に被災され、救援などが数日間無かった場合にでも最悪生活用水として使用いただけること等含め

様々な事例毎で現地でユーザー様ご自身でご対応いただくことで救援を待つ間にでも最小限ご利用いただけることをお伝えするためにこのリストを作成させていただいております。

被災直後の数日間でも皆様の生活を支えたい製造・販売メーカー一同よりの思いです。

## 自然災害後対応可否チェックリスト <各事案一覧表>

⇒ 複数の現象・事象が重なった場合含め、下記表のどの例示に当てはまるか確認の上  
各例示毎の対応案を参考に必要な措置をとっていただければ幸いです。

現象・事案	例 1	例 2	例 3	例 4	例 5	例 6	例 7	例 8	例 9	例 10	例 11	例 12	例 13	例 14	例 15
停電 <※1>	○	—	—	—	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	○
断水 <※2>	—	○	—	—	○	—	—	○	○	—	○	○	—	○	○
浸水 <※3>	—	—	○	—	—	○	—	○	—	○	○	—	○	○	○
傾き <※4>	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	—	○	○	○	○

※1: 自然災害などの影響で意図しない事象で2~3日以上の上断電時について<計画断電等は除く>

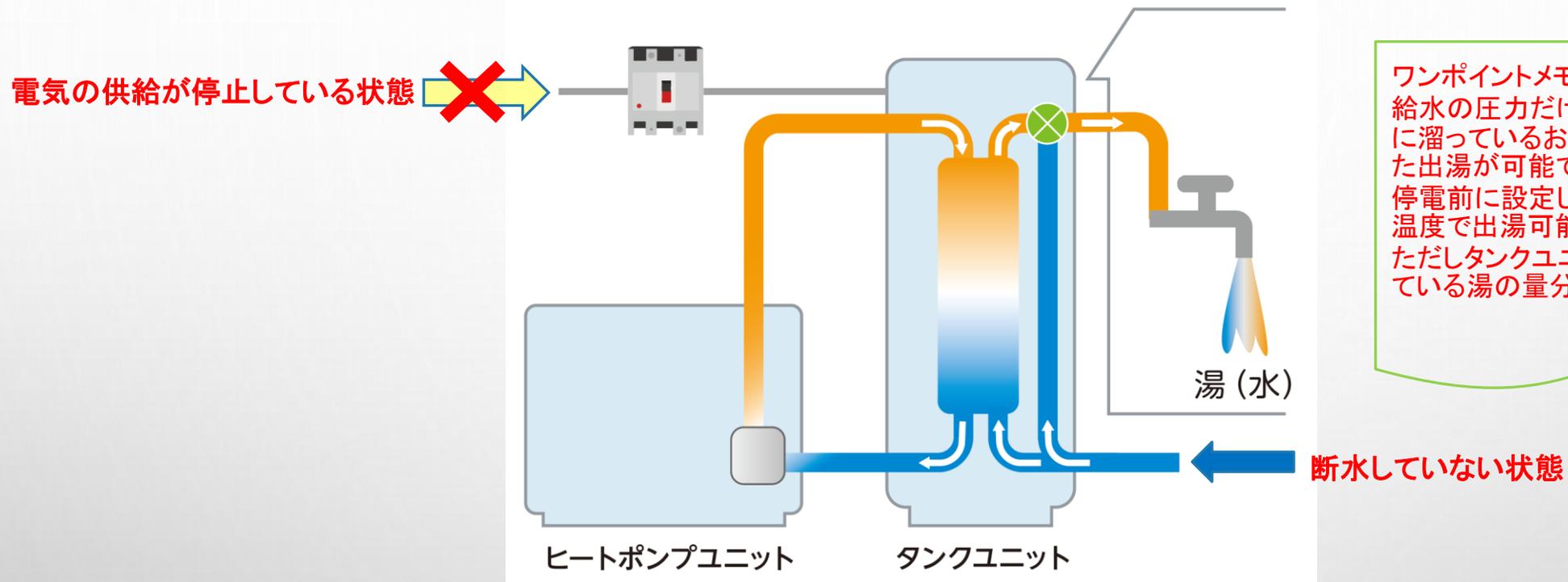
※2: 自然災害などの影響で意図しない事象で2~3日以上の上断水時について<計画断水等は除く>

※3: 自然災害などの影響で機器底部以上(水没含む)に周辺水位が上昇した場合

※4: 自然災害などの影響で貯湯タンクが据え付け時よりも傾いている場合

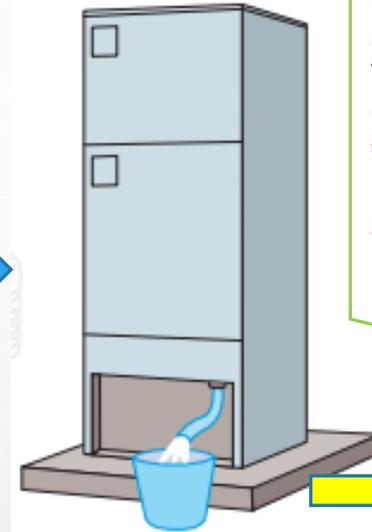
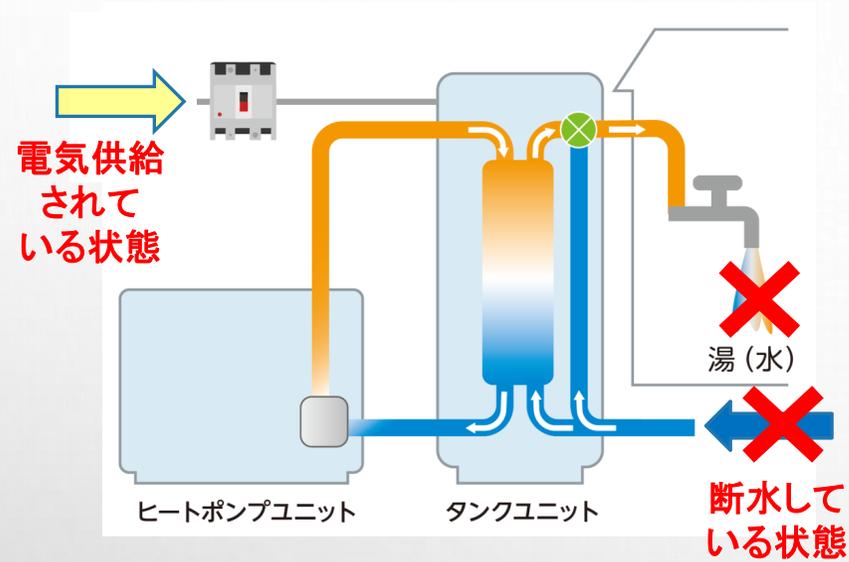
**基本的に断水及び浸水が起こった場合は非常用取水栓からの生活用水取り出しが原則となります**

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例1の場合  
(停電が単独で起こった)



可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
タンク内にある湯を使用した給湯	タンク内湯温の確認(利用可否確認及びやけど防止)	(お湯の出しっぱなし。 <u>タンク内のお湯には限りがあります。</u> )	自動湯はり不可

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例2の場合  
(断水が単独で起こった)



ワンポイントメモ:  
タンクユニット内に蓄えられている湯(水)をタンクユニット下部より取り出して生活用水に利用できます。

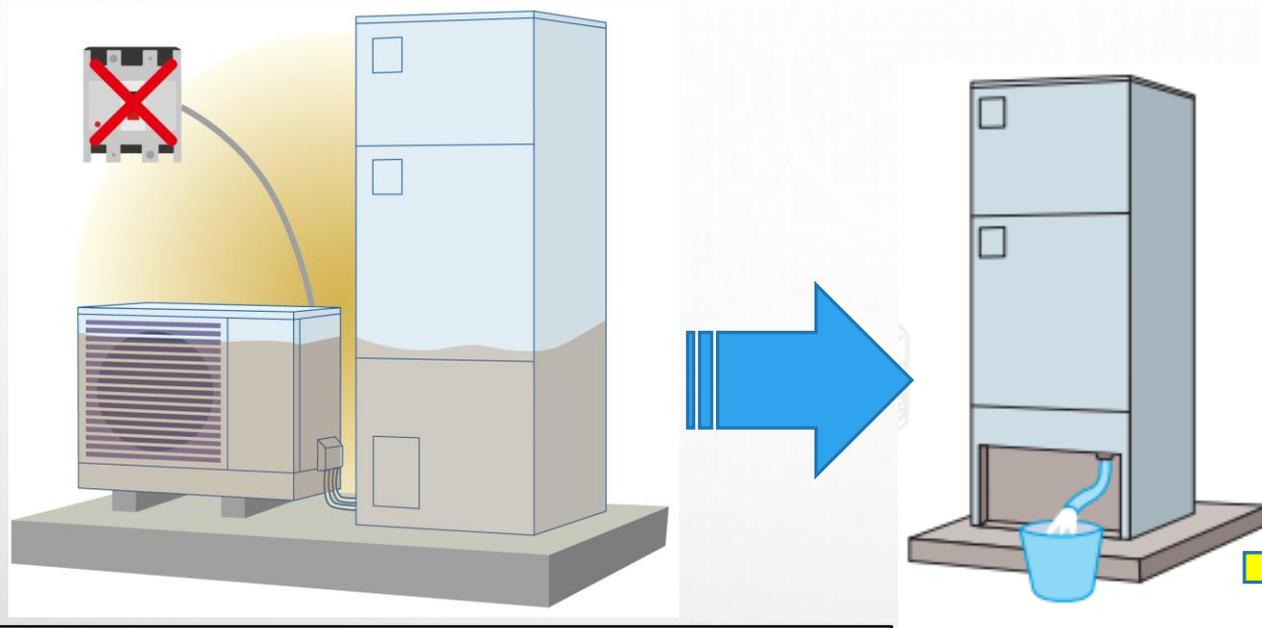
飲料水は3L/人・日×最低3日分の備蓄をしておくことが推奨されています。<農林水産省:「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より>  
これとは別で手洗いやトイレ(使用可能な場合)、食器類の洗浄などに使う生活用水は、1日につき1人あたり10~20L必要と言われています。これは最低限の生活水準を維持するために必要とされている水量です。



※非常用生活水の取り出し方は、取り扱い説明書を参照するか、各エコキュートメーカーへお問い合わせください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
タンク内の水(湯)を生活用水として使用	給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁コックを開放し 非常用コックを操作して必要な生活用水を取り出す	生活用水取り出し時に毎回湯温の確認を怠る→途中で高温になりやけどの可能性あり	巻末に各メーカーの説明書へのリンクページがあります。

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例3の場合  
(浸水・水没が単独で起こった)



ワンポイントメモ:  
タンクユニット内に蓄えられている湯(水)をタンクユニット下部より取り出して生活用水に利用できます。

飲料水は3L/人・日×最低3日分の備蓄をしておくことが推奨されています。<農林水産省:「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より>  
これとは別で手洗いやトイレ(使用可能な場合)、食器類の洗浄などに使う生活用水は、1日につき1人あたり10~20L必要と言われていています。これは最低限の生活水準を維持するために必要とされている水量です。

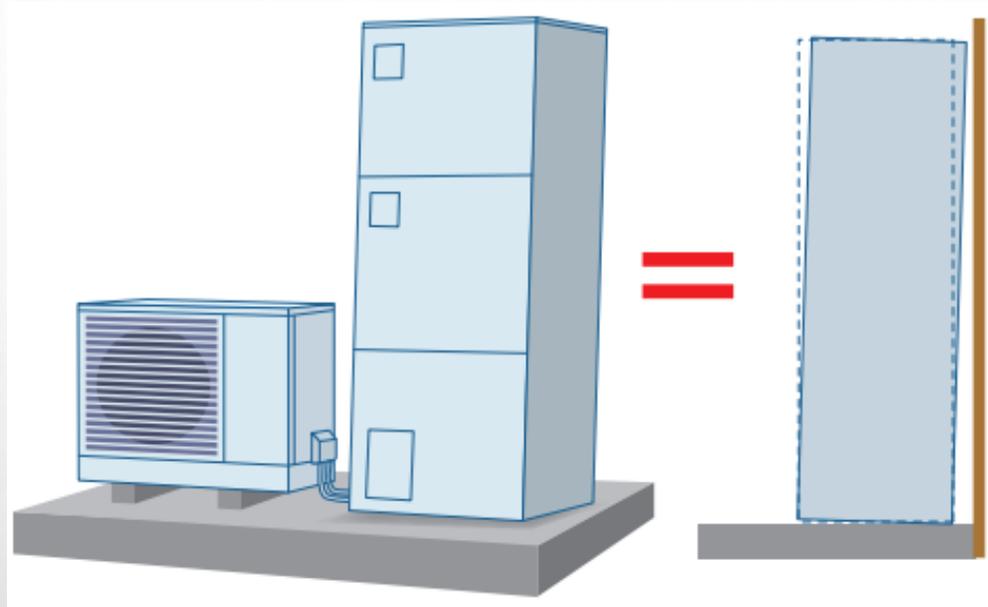


※水害などが発生した場合は住宅分電盤のブレーカーが落ちている場合がありますが、電力会社に確認しないでブレーカーを上げることは火災などの心配がありますのでご注意ください。

※非常用生活水の取り出し方は、取り扱い説明書を参照するか、各エコキュートメーカーへお問い合わせください。

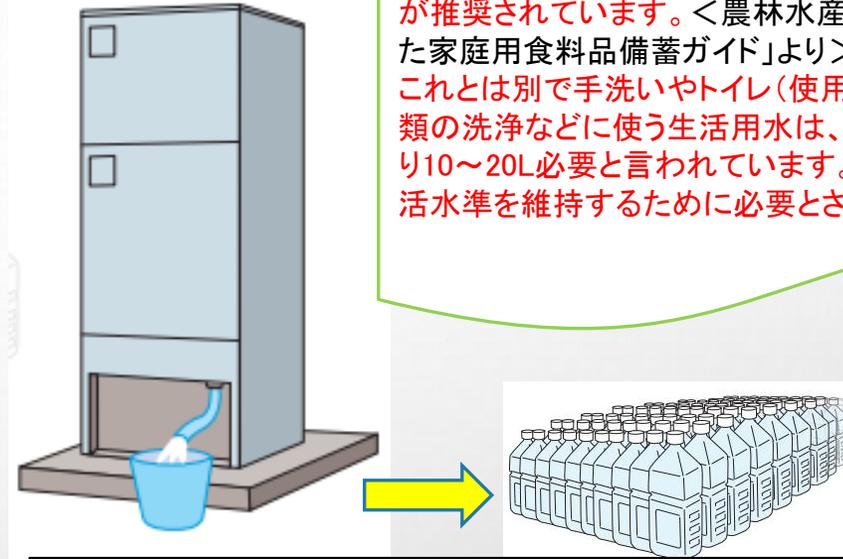
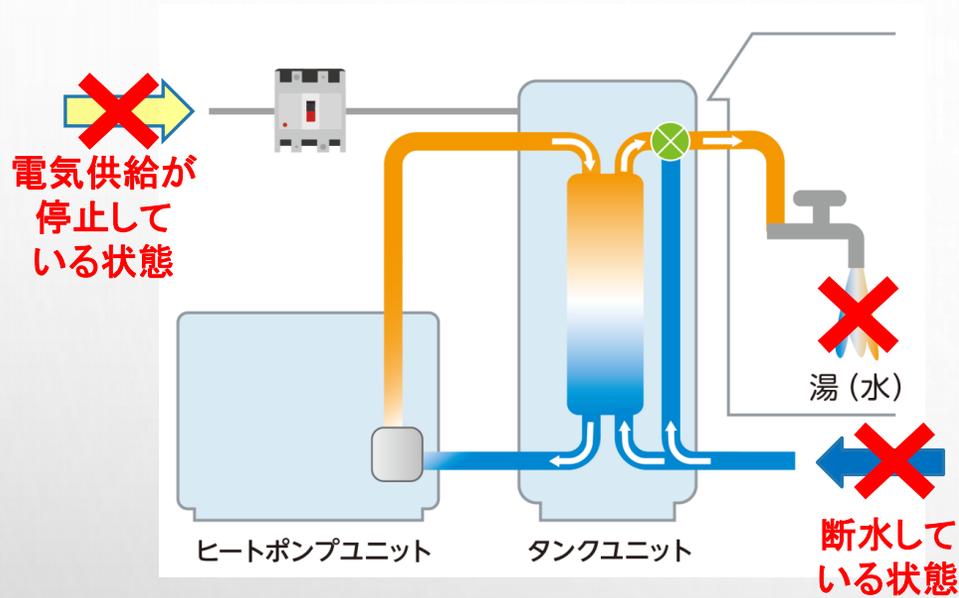
可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
①<断水していない場合> タンク内にある湯を使用した蛇口からの給湯 <例1と同様> あるいは ②タンク内の水(湯)を生活用水として使用	①タンク内湯温の確認(利用可否確認及びやけど防止) ②給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁コックを開放し 非常用コックを操作して必要な生活用水を取り出す	②生活水取り出し時に毎回湯温を確認を怠る → 途中で高温になりやけどの可能性あり	巻末に各メーカーの説明書へのリンクページがあります。

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例4の場合  
 (地震などで貯湯タンクが傾いている場合)



可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
若干の傾きであれば通常使用が可能な場合がある(停電・断水していない状態時)	製造メーカーへ確認願います。転倒の恐れがない事を確認し機器エラーが発報していないことを確認。ただし余震等での転倒も十分考慮の事。	余震で転倒する可能性がある場合は電源ブレーカーを『切』にして近づかない。	メーカー推奨施工時のみ対象あくまで災害時の緊急的対応の為、後日適正な据付直し等を実施のこと

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例5の場合  
(停電・断水が複合で起こった)



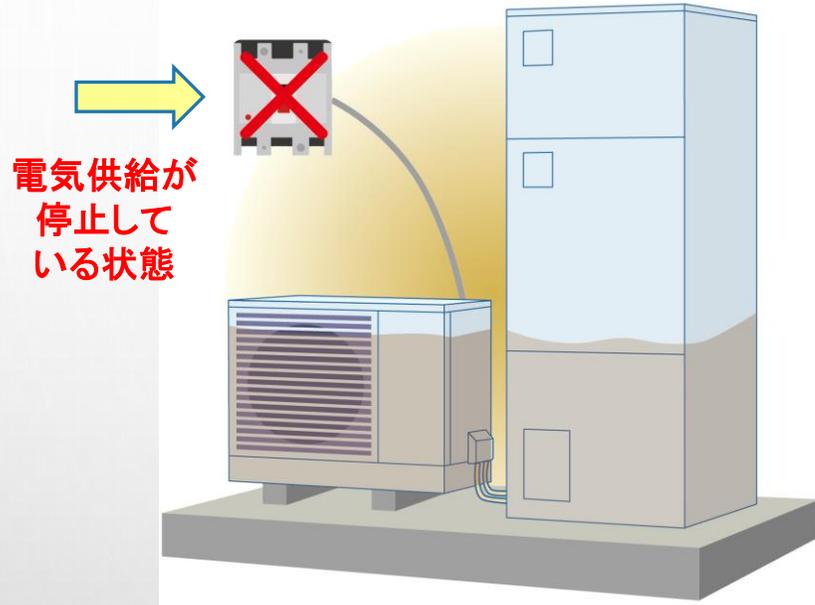
ワンポイントメモ:  
タンクユニット内に蓄えられている湯(水)をタンクユニット下部より取り出して生活用水に利用できます。

飲料水は3L/人・日×最低3日分の備蓄をしておくことが推奨されています。<農林水産省:「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より>  
これとは別で手洗いやトイレ(使用可能な場合)、食器類の洗浄などに使う生活用水は、1日につき1人あたり10~20L必要と言われています。これは最低限の生活水準を維持するために必要とされている水量です。

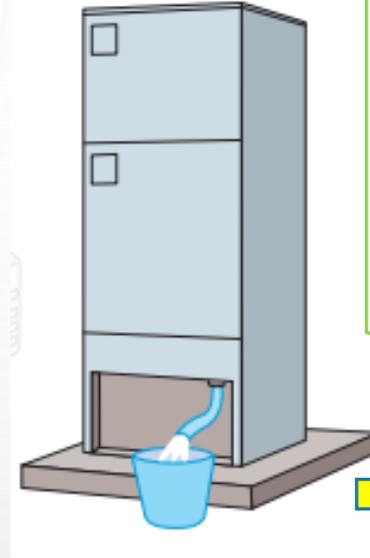
※非常用生活用水の取り出し方は、取り扱い説明書を参照するか、各エコキュートメーカーへお問い合わせください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
タンク内の水(湯)を生活用水として使用	給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁コックを開放し 非常用コックを操作して必要な生活用水を取り出す	生活水取り出し時に毎回湯温を確認を怠る→途中で高温になりやけどの可能性あり	巻末に各メーカーの説明書へのリンクページがあります。

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例6の場合  
(停電・浸水が複合で起こった)



電気供給が  
停止して  
いる状態



ワンポイントメモ:  
タンクユニット内に蓄えられている湯(水)をタンクユニット下部より取り出して生活用水に利用できます。

飲料水は3L/人・日×最低3日分の備蓄をしておくことが推奨されています。<農林水産省:「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より>  
これとは別で手洗いやトイレ(使用可能な場合)、食器類の洗浄などに使う生活用水は、1日につき1人あたり10~20L必要と言われています。これは最低限の生活水準を維持するために必要とされている水量です。

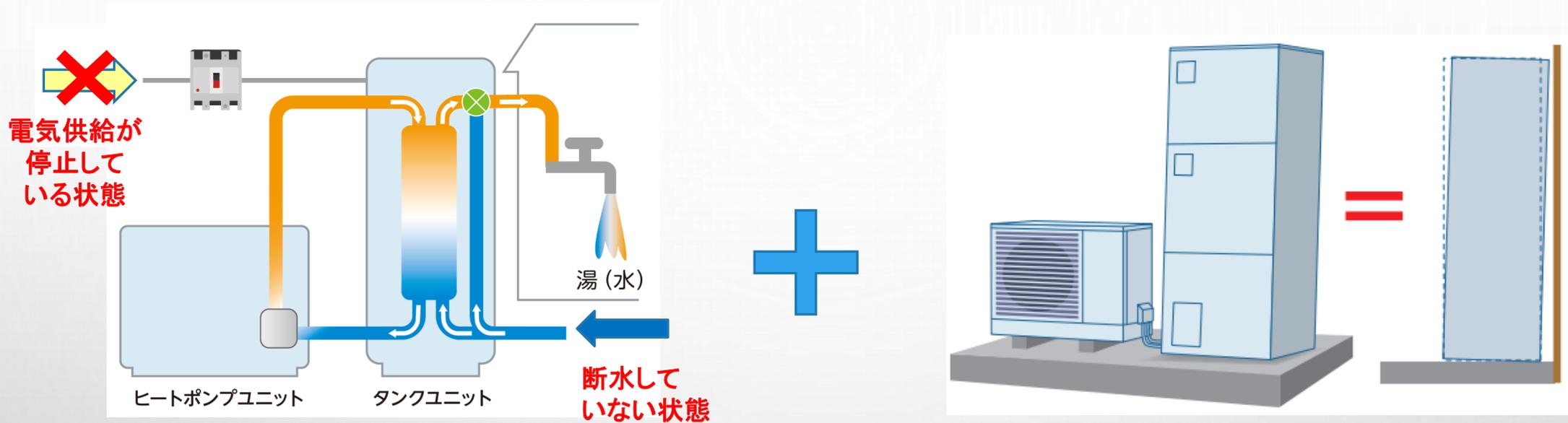


※水害などが発生した場合は住宅分電盤のブレーカーが落ちている場合がありますが、電力会社に確認しないでブレーカーを上げることは火災などの心配がありますのでご注意ください。

※非常用生活水の取り出し方は、取り扱い説明書を参照するか、各エコキュートメーカーへお問い合わせください。

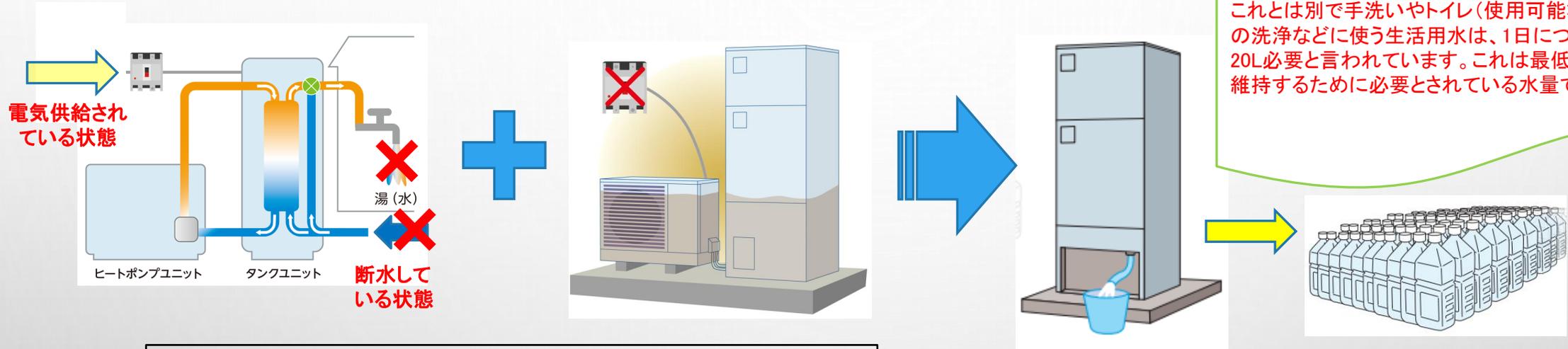
可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
①<断水していない場合> タンク内にある湯を使用した蛇口からの給湯 <例1と同様> あるいは ②タンク内の水(湯)を生活用水として使用	①タンク内湯温の確認(利用可否確認及びやけど防止) ②給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁コックを開放し 非常用コックを操作して必要な生活用水を取り出す	②生活水取り出し時に毎回湯温を確認を怠る→ 途中で高温になりやけどの可能性あり	巻末に各メーカーの説明書へのリンクページがあります。

自然災害後各事例毎の対応説明 - 例7の場合  
(停電・傾きが複合で起こった)



可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
<p>若干の傾きであれば通常使用が可能な場合がある(断水していない状態時) → <u>タンク内にある湯を使用した水栓からの給湯</u></p>	<p>製造メーカーへ確認願います。転倒の恐れがない事を確認し機器エラーが発報していないことを確認。ただし余震等での転倒も十分考慮の事。タンク内湯温の確認(利用可否確認及びやけど防止)</p>	<p>余震で転倒する可能性がある場合は電源ブレーカーを『切』にして近づかない。(お湯の出しっぱなし。タンク内のお湯には限りがあります。)</p>	<p>メーカー推奨施工時のみ対象 あくまで災害時の緊急的対応の為、後日適正な据付直し等を実施のこと</p>

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例8の場合  
(断水・浸水が複合で起こった)



ワンポイントメモ:  
タンクユニット内に蓄えられている湯(水)をタンクユニット下部より取り出して生活用水に利用できます。

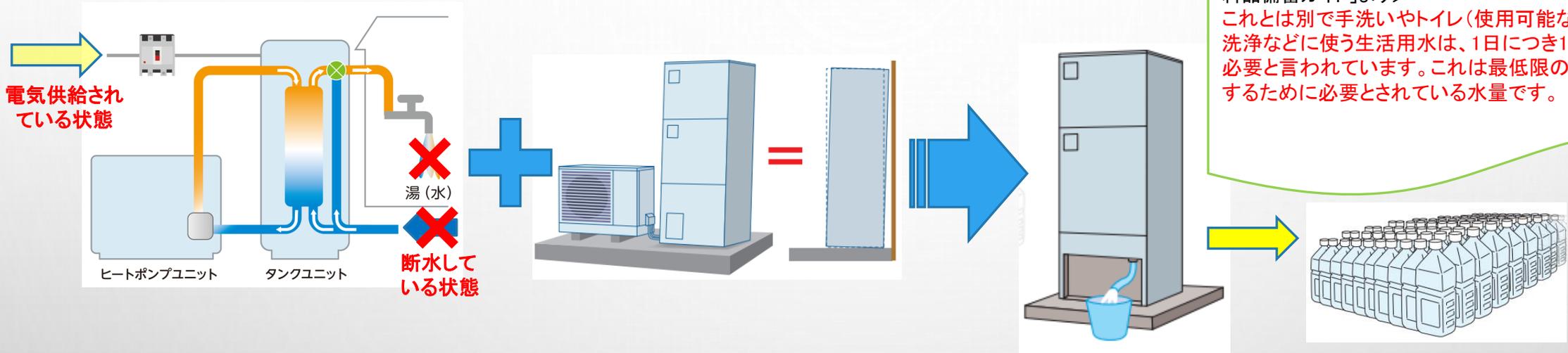
飲料水は3L/人・日×最低3日分の備蓄をしておくことが推奨されています。<農林水産省:「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より>  
これとは別で手洗いやトイレ(使用可能な場合)、食器類の洗浄などに使う生活用水は、1日につき1人あたり10～20L必要と言われています。これは最低限の生活水準を維持するために必要とされている水量です。

※水害などが発生した場合は住宅分電盤のブレーカーが落ちている場合がありますが、電力会社に確認しないでブレーカーを上げることは火災などの心配がありますのでご注意ください。

※非常用生活水の取り出し方は、取り扱い説明書を参照するか、各エコキュートメーカーへお問い合わせください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
タンク内の水(湯)を生活用水として使用	電気の安全の確認後 給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁コックを開放し 非常用コックを操作して必要な生活用水を取り出す	安全確認をしないで電源ブレーカーを入れる→漏電による感電・火災	巻末に各メーカーの説明書へのリンクページがあります。

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例9の場合  
(断水・傾きが複合で起こった)



ワンポイントメモ:  
タンクユニット内に蓄えられている湯(水)をタンクユニット下部より取り出して生活用水に利用できます。

飲料水は3L/人・日×最低3日分の備蓄をしておくことが推奨されています。<農林水産省:「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より>

これとは別で手洗いやトイレ(使用可能な場合)、食器類の洗浄などに使う生活用水は、1日につき1人あたり10~20L必要と言われています。これは最低限の生活水準を維持するために必要とされている水量です。

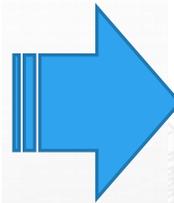
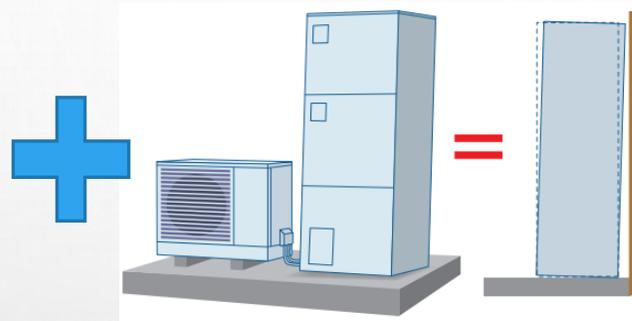
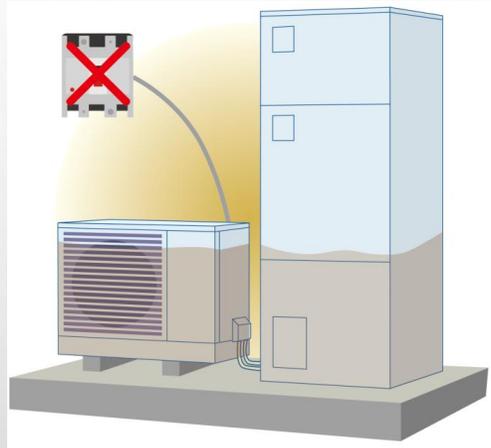
※非常用生活用水の取り出し方は、取り扱い説明書を参照するか、各エコキュートメーカーへお問い合わせください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
若干の傾きであればタンク内の水(湯)を生活用水として使用	余震等での影響も含め <b>転倒の安全の確認後</b> 給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁 コックを開放し 非常用コックを操作して 必要な生活用水を取り出す	生活水取り出し時に毎回湯温を確認を 怠る→ 途中で高温になりやけどの可 能性あり	巻末に各メーカーの説明書への リンクページがあります。

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例10の場合  
(浸水・傾きが複合で起こった)

ワンポイントメモ:  
タンクユニット内に蓄えられている湯(水)をタンクユニット下部より取り出して生活用水に利用できます。

飲料水は3L/人・日×最低3日分の備蓄をしておくことが推奨されています。<農林水産省:「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より>  
これとは別で手洗いやトイレ(使用可能な場合)、食器類の洗浄などに使う生活用水は、1日につき1人あたり10~20L必要と言われています。これは最低限の生活水準を維持するために必要とされている水量です。

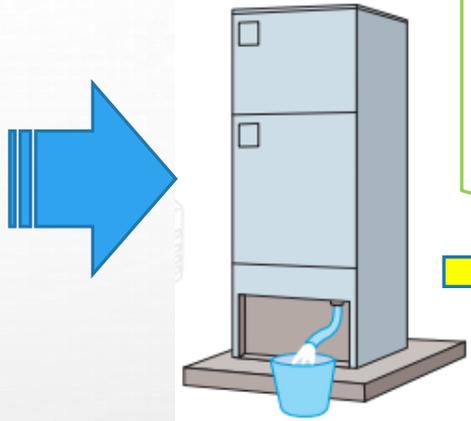
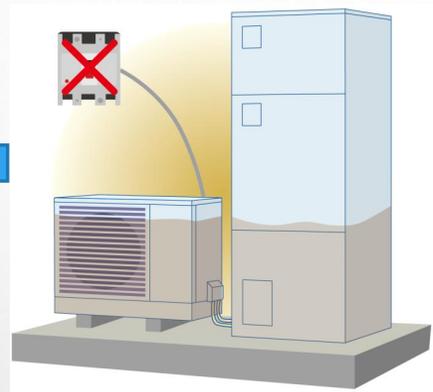
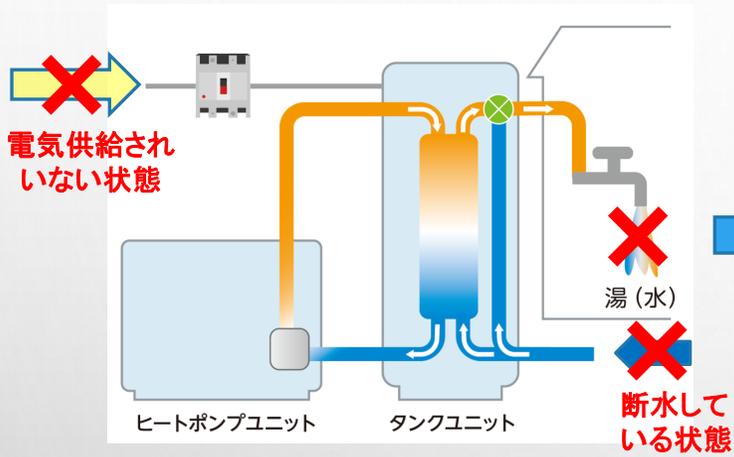


※水害などが発生した場合は住宅分電盤のブレーカーが落ちている場合がありますが、電力会社に確認しないでブレーカーを上げることは火災などの心配がありますのでご注意ください。

※非常用生活水の取り出し方は、取り扱い説明書を参照するか、各エコキュートメーカーへお問い合わせください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
若干の傾きであればタンク内の水(湯)を生活用水として使用	余震等での影響も含め <b>転倒の安全の確認後</b> 給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁 コックを開放し 非常用コックを操作して 必要な生活用水を取り出す	生活水取り出し時に毎回湯温を確認を 怠る→ 途中で高温になりやけどの可 能性あり	巻末に各メーカーの説明書への リンクページがあります。

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例11の場合  
(停電・断水・浸水が複合で起こった)



ワンポイントメモ:  
タンクユニット内に蓄えられている湯(水)をタンクユニット下部より取り出して生活用水に利用できます。

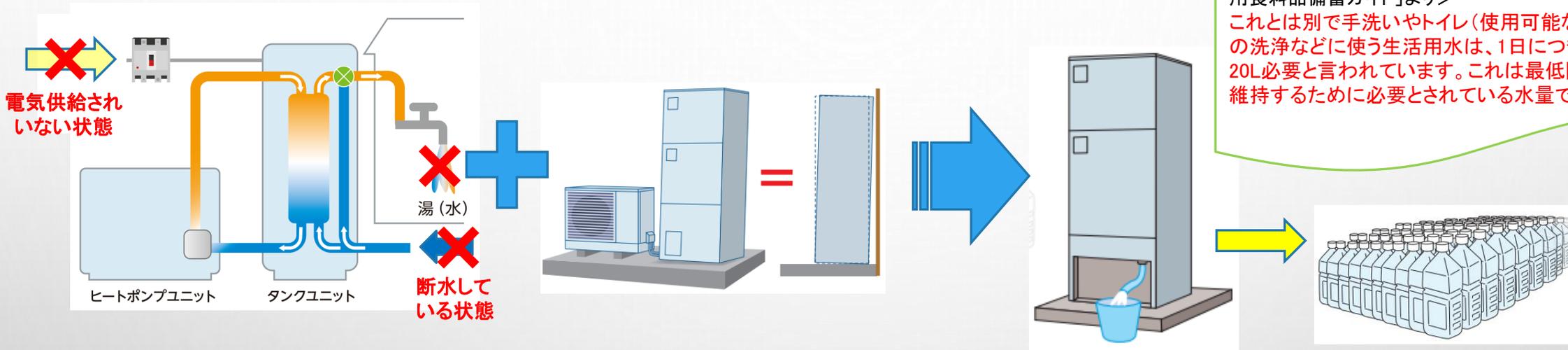
飲料水は3L/人・日×最低3日分の備蓄をしておくことが推奨されています。<農林水産省:「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より>  
これとは別で手洗いやトイレ(使用可能な場合)、食器類の洗浄などに使う生活用水は、1日につき1人あたり10～20L必要と言われています。これは最低限の生活水準を維持するために必要とされている水量です。

※水害などが発生した場合は住宅分電盤のブレーカーが落ちている場合がありますが、電力会社に確認しないでブレーカーを上げることは火災などの心配がありますのでご注意ください。

※非常用生活水の取り出し方は、取り扱い説明書を参照するか、各エコキュートメーカーへお問い合わせください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
タンク内の水(湯)を生活用水として使用	電気の安全の確認後 給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁コックを開放し 非常用コックを操作して必要な生活用水を取り出す	安全確認をしないで電源ブレーカーを入れる→漏電による感電・火災	巻末に各メーカーの説明書へのリンクページがあります。

自然災害後各事例毎の対応説明 — 例12の場合  
(停電・断水・傾きが複合で起こった)



ワンポイントメモ:  
タンクユニット内に蓄えられている湯(水)をタンクユニット下部より取り出して生活用水に利用できます。

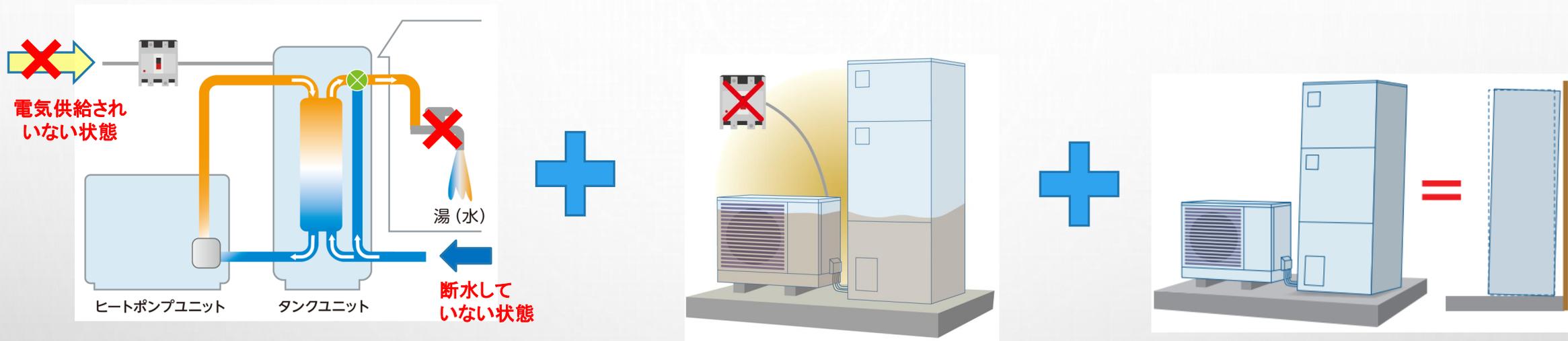
飲料水は3L/人・日×最低3日分の備蓄をしておくことが推奨されています。<農林水産省:「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より>  
これとは別で手洗いやトイレ(使用可能な場合)、食器類の洗浄などに使う生活用水は、1日につき1人あたり10~20L必要と言われています。これは最低限の生活水準を維持するために必要とされている水量です。

※水害などが発生した場合は住宅分電盤のブレーカーが落ちている場合がありますが、電力会社に確認しないでブレーカーを上げることは火災などの心配がありますのでご注意ください。

※非常用生活用水の取り出し方は、取り扱い説明書を参照するか、各エコキュートメーカーへお問い合わせください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
若干の傾きであればタンク内の水(湯)を生活用水として使用	余震等での影響も含め <b>転倒の安全の確認後</b> 給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁コックを開放し、 <b>非常用コックを操作して必要な生活用水を取り出す</b>	生活水取り出し時に毎回湯温を確認を怠る→途中で高温になりやけどの可能性あり	巻末に各メーカーの説明書へのリンクページがあります。

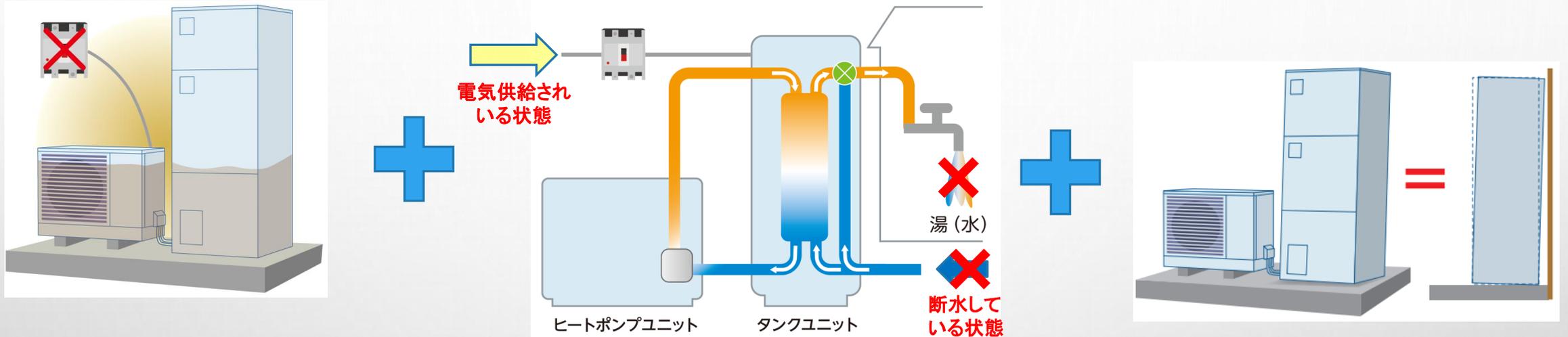
自然災害後各事例毎の対応説明 – 例13の場合  
 (停電・浸水・傾きが複合で起こった)



※水害などが発生した場合は住宅分電盤のブレーカーが落ちている場合がありますが、電力会社に確認しないでブレーカーを上げることは火災などの心配がありますのでご注意ください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
タンク内の水(湯)を生活用水として使用 <a href="#">＜例2と同様＞</a>	余震等での影響も含め <b>転倒の安全の確認</b> および <b>電気の安全の確認</b> 給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁 コックを開放し 非常用コックを操作して 必要な生活用水を取り出す	安全確認をしないで電源ブレーカーを入 れる→漏電による感電・火災	巻末に各メーカーの説明書への リンクページがあります。

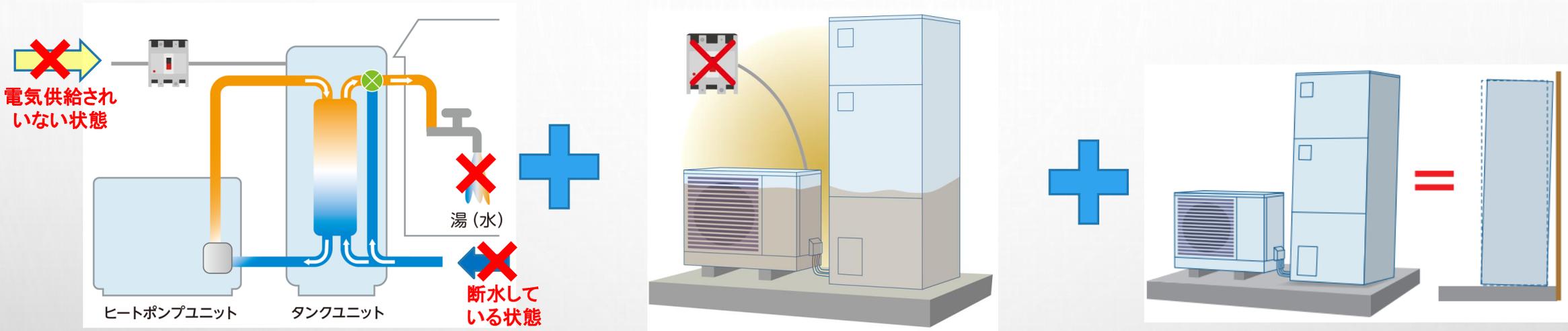
自然災害後各事例毎の対応説明 — 例14の場合  
(浸水・断水・傾きが複合で起こった)



※水害などが発生した場合は住宅分電盤のブレーカーが落ちている場合がありますが、電力会社に確認しないでブレーカーを上げることは火災などの心配がありますのでご注意ください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
若干の傾きであればタンク内の水(湯)を生活用水として使用 <例2と同様>	余震等での影響も含め <b>転倒の安全の確認</b> および <b>電気の安全の確認</b> 給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁 コックを開放し 非常用コックを操作して 必要な生活用水を取り出す	安全確認をしないで電源ブレーカーを入れる→漏電による感電・火災 生活水取り出し時に毎回湯温を確認を 怠る→途中で高温になりやけどの可能性あり	

自然災害後各事例毎の対応説明 – 例15の場合  
 (停電・断水・浸水・傾きが複合で起こった)



※水害などが発生した場合は住宅分電盤のブレーカーが落ちている場合がありますが、電力会社に確認しないでブレーカーを上げることは火災などの心配がありますのでご注意ください。

可能性有	同左実施必要事項	不可行動	備考
若干の傾きで(近づければ)あればタンク内の水(湯)を生活用水として使用 <例2と同様>	余震等での影響も含め <b>転倒の安全の確認後</b> 給水配管専用止水栓を閉め、逃がし弁 コックを開放し 非常用コックを操作して 必要な生活用水を取り出す	生活水取り出し時に毎回湯温を確認を 怠る→ 途中で高温になりやけどの可 能性あり	

## 各製造販売メーカーの非常用取水栓操作方法へのリンク集

株式会社 コロナ

→ [災害・断水・停電時 | よくあるご質問 | エコキュート | 株式会社コロナ \(corona.co.jp\)](#)

ダイキン工業株式会社

→ [大雪・凍結・台風・水害・停電・断水 - よくあるご質問 \(daikincc.com\)](#)

株式会社 長府製作所

→ [非常時の取水方法《エコキュート かんたん取説》](#)

株式会社 デンソー

→ [災害時におけるエコキュートのお取り扱いについて](#)

パナソニック 株式会社

→ [非常時にできること | はじめてのエコキュート | エコキュート | 給湯・暖房 | Panasonic](#)

日立グローバルライフソリューションズ 株式会社

→ [災害時における日立製品などのお取り扱いについて - 日立グローバルライフソリューションズ株式会社](#)

三菱電機 株式会社

→ [自然災害や停電・断水時の対応について](#)

日本キャリア 株式会社(旧 東芝キャリア(株))

→ [東芝エコキュートの断水時のお取り扱いについて](#)